

令和6年度夏季研修会について 報告

令和6年8月6日(火) 本校体育館

今年、本校の進路指導主事から進路選択における支援や卒業生の進路状況についてお伝えするとともに、社会福祉法人 樫の木福祉会から野崎貴詞様をお招きし、「進路選択と意思決定支援」のお話を中心に講義をしていただく形で夏季研修会を行いました。

野崎様からは、稲沢市、一宮市の相談支援体制の現状や、これから始まる就労選択支援の内容を紹介していただきました。特に、進路選択の際に必要な意思決定支援について事例を交えながら詳しく説明していただきました。その中で、福祉サービスや住居の選択など卒業後の様々な場面における意思決定支援のプロセスや留意点についても触れていただきました。意思決定の力を育むためには、幼い頃から自分で選択できる機会をたくさん提供することが大切であるというお話を伺い、我々教職員や地域の支援者たちがどのようなサポートができるか、どのような役割を果たすべきかを考える重要な機会を与えていただきました。子どもたちが、日常生活の中で「選択」する経験を多く積むことができるよう環境を整え、将来を見据えた支援を継続的に行っていくことが大切であると感じました。

参加者アンケートからは

- ・知らない情報がたくさんあり、支援者の立場としてのあり方、心構えを学ぶことができました。意思決定を意識した支援を心掛けたいです。
- ・福祉とのつながりについても分かり良かったです。少しでも選択の機会を増やし、自己決定する力をつけられるようサポートしていきたいと思います。
- ・小学生の進路に関わる中で「周りの大人が決めてやらなければ」と保護者と共に考えていたように思います。本人の意思決定を促せるよう、低学年のころから選択する経験をしっかり設定していきたいです。

などの声が寄せられました。

また、会場内では、「教材教具の紹介」も行い、実際に本校で活用している教材を手にとって見ていただきました。

- ・大変参考になりました。自作の教具データを市内で共有(いなウイズなどで)していただけると嬉しいです。
- ・自活等に利用できる教材を実際に見たり触ったりすることができて良かったです。

などの声をいただきました。

暑い中、地域の小・中学校の先生方や福祉関係の皆様がたくさん参加していただきました。ありがとうございました。

